第93回　世界の人とふれあいタイム

マレーシア
ゲスト：
ディアナ ダウド アブドゥラさん

日時：７月７日(日)13:30～15:30
会場：八王子市学園都市センター第５セミナー室

ディアナ　ダウド　アブドゥラさん

今回のゲストのディアナさんは、1984 年マレーシアから日本へ自費留学生として来日し、日本大学で心理学を専攻しました。その後宇都宮大学大学院で国際関係の修士号を取得し、現在は埼玉大学で英語を教えています。なお当時は、マハティール首相の”ルック・イースト政策“で多くの学生が日本へ国費で来ていました。

国旗の赤色は勇気を、白色は純粋を表します。マレーシアは西マレーシアと東マレーシアに分かれています。現在は薬による森林破壊が問題となり、動物や虫などの生態系が変わっています。

マレーシアの地図

マレーシア人は外国人が好きで親しみ易く、特に日本人に対して優しいです。一般的な国民は、ハングリー精神旺盛で、一生懸命仕事をします。しかし、最近では貧富の格差が増してきています。農業に関して、稲作では西マレーシア(マレー半島)の東海岸ではインディカ米を耕作していて、日本のお米であるジャポオニカ米と交配して稲作すると、「おいしいお米を収穫できるのでは」と、ディアナさんは説明してくれました。

言語については、イギリス統治時代は英語が公用語でしたが、現在、マレーシアではマレー語が公用語となっていて、英語レベルは落ちているそうです。ただ、言葉はコミュニケーションの道具なので、テストで数値を競うものではないとおっしゃっています。

首都クアラルンプール

さてマレーシの首都はクアラルンプールで、クアラ・ルンプール・タワーは通信塔としてランドマークにもなっています。またペトロナス・ツインタワー(KLCC)は観光客に人気があります。ブリックフィールズ（リトルインディア）/インド人街はタミール人が多く、プタリング・ストリート（中華街）や国立モスク、バトゥ洞窟(ヒンドゥー教寺院)等が有名です。最近ではイン

ペトロナス･ツインタワー(KLCC)

バトゥ洞窟

ド系医師や弁護士、中国系エンジニア、マレーシア人も医師や弁護士が出てきています。伝統的な民族衣装は、多民族国家を表しています。宗教ではイスラム教が約６割を占めています。

食文化では熱帯気候なので、トロピカルフルーツが豊富で、臭くて美味しい？果物の王様ドリアンが有名です。マレーシアの代表的な料理はナシ・レマやサテーです。

教育ではイギリスのマルティール実践教育を文部科学省が採用していています。

ディアナさんのクロージングスピーチで「世のなか学歴ではない！過去の学歴より今、人のために何をしているかが大切です。」との言葉は印象的でした。

トロピカルフルーツ

アンケート結果でも、「ガイドブックで知り得ないような内容が多かったので面白かった。教育については私も関心があるので興味深かった」等の好意的な回答が多く寄せられました。

また休憩時間にディアナさんから提供して頂いた、チュチュ・ウダン(マレーシア風かきあげ)とグラ・マラッカ・サゴ(タピオカ入りローズミルクティー)はとても美味しく楽しむことができました。

(世界の人とふれあいタイム委員長　生山龍哉)